



問題1 感染症対策などに取り組む国際連合(国連)の【 A 】は2020年3月、世界に広がった新型コロナウイルスについて、【 B 】の状態だと表明しました。【 A 】【 B 】に当てはまる言葉の正しい組み合わせを、①～④から一つ選びなさい。(4級)

- ① A-国連教育科学文化機関(ユネスコ)
B-パンデミック
- ② A-国連教育科学文化機関(ユネスコ)
B-インフォデミック
- ③ A-世界保健機関(WHO)
B-インフォデミック
- ④ A-世界保健機関(WHO)
B-パンデミック



新型コロナウイルスの感染が拡大し、大相撲春場所は史上初めて「無観客」で開かれた。カ士たちもマスク姿で移動した＝JR新大阪駅で2020年2月

問題2 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2020年4月上旬に予定されていた、【 】の習近平(しゅうきんぺい)・国家主席の日本訪問が延期されました。【 】に当てはまる国名を、①～④から一つ選びなさい。(4級)

- ① インド
- ② フランス
- ③ 韓国
- ④ 中国

問題3 地球温暖化が引き起こす環境問題の例として、正しい説明を①～④から一つ選びなさい。(4級)

- ① 南極の上空でオゾン層が薄くなっている。
- ② 飲み水が汚染されている。
- ③ 世界各地で大きな地震が起きている。
- ④ 北極などの氷が解けて海面が上がり、小さな島国が水没の危機にさらされている。

問題4 日本の国内総生産(GDP)のうち、約6割と最も多くの割合を占めている項目は何ですか。正しいものを①～④から一つ選びなさい。(3級)

- ① 個人が商品やサービスを買うために使った総額
- ② 日本から外国に輸出した商品やサービスの総額
- ③ 国や地方自治体が公共事業をするために使った総額
- ④ 企業が工場や機械の新設・増設のために使った総額

問題5 イギリスが2020年1月、欧州連合(EU)から離脱しました。イギリスについて、正しい説明を、①～④から一つ選びなさい。(3級)

- ① EUから離脱した初めての国だ。
- ② 50州から構成される連邦国家だ。
- ③ 「大統領制」を採用している。
- ④ 世界で最も多くの核弾頭を持っている。



EU本部がある、ベルギーの首都ブリュッセルでは、建物などがユニオンジャック(イギリスの国旗)で彩られた112020年1月

問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	5
年 組		氏 名			
番号					

※今回の問題と「正解と解説」は、人名・肩書や国名・組織名を含め、2020年3月末時点の情報に基づいています。



正解と解説

問題 1 正解 ④

WHO(ユネスコと同じく、国連の専門機関の一つです)が「パンデミック」(世界的大流行)という表現を使うのは、新型インフルエンザが流行した2009年以来のことです。一方、「インフォデミック」とは、ツイッターなどでデマやうわさ、信ぴょう性の低い情報などが出回り、社会に悪影響を及ぼす状態のことを指します。例えば、「お湯などが感染症に効く」といった誤情報や、特定の地名を挙げて「感染者がいるのに公表していない」などと不安をあおるものもあります。WHOはこうしたデマを信じないよう、警戒を呼びかけています。

問題 2 正解 ④

日本にとって中国は最大の貿易相手国です。アメリカに次ぐ世界第2の経済大国でもあります。日本政府は2020年4月上旬、公式に招待する「国賓」として習氏を迎える予定でした。しかし、2020年1月に中国湖北省武漢市で新型コロナウイルスの流行が拡大し、中国政府が「封じ込め」に追われる一方、日本政府も感染症対策を迫られ、延期が決まりました。

問題 3 正解 ④

温暖化は特に北極で進んでおり、気象庁によると、北極域(北極圏より広い地域一帯)の海水面積は1979年以降、毎年、北海道の面積と同じくらい減り続けています。氷が解けるにつれ、北極圏を通る航路や、未発見の天然資源が注目されるようになりました。航路や資源を求めて、中国やロシア、アメリカが争奪戦を繰り広げています。

①オゾン層が薄くなっているのは、冷蔵庫などに使われる化学物質フロンのおかげです。②飲み水の汚染は工場の排水などで起こります。③地震はプレートの動きなどによって起こります。温暖化とは直接の関係はありません。

問題 4 正解 ①

これを「個人消費」といいます。GDPはその国の経済がどれほど盛んなのかを測るものさしとされるデータで、大まかにいえば、一定期間に国内で使われたお金の総額です。日本の場合、個人消費がGDPの約6割を占めており、経済を盛んにするためのカギを握ります。

問題 5 正解 ①

イギリスは2020年1月、EUを離脱しました。EUから加盟国が離脱したのは初めてです。離脱はイギリスにとっても、他のEU加盟国にとっても影響が大きく、世界中が今後の展開に注目しています。そもそもヨーロッパで統合が進んだのは、第一次世界大戦と第二次世界大戦の舞台となったからです。石炭や鉄鉱石の奪い合いが対立の火種になった反省から、資源の共同管理のため、1952年に「欧州石炭鉄鋼共同体」(ECSC)ができました。さらに「欧州共同体」(EC)になり、1973年にはイギリスも加わりました。やがて外交や安全保障など政治の統合を目指すようになり、1993年にEUが発足。1999年には単一通貨「ユーロ」を導入しました。経済規模は世界の約2割を占めます。

②アメリカの説明です。③「大統領制」ではなく「議院内閣制」です。④ロシアの説明です。